

老健「憩」で日舞を披露



日本舞踊の発表に見入る老健施設憩の利用者ら

介護老人保健施設「憩」(足永武施設長)の敬老会がこのほど、室蘭市知利別町の同施設で行われ、施設の利用者らがボランティアグループによる日本舞踊を楽しんだ。

15日の「敬老の日」にちなんだ恒例行事。同施設講

堂に入所者と通所リハビリの利用者約100人が集まり、市内で活動するボランティアグループ「もくれんの会」(丸山規子会長)の5人が日本舞踊を披露した。

「花笠音頭」「河内おとこ節」「ソーラン節」など

の演目が次々に披露され、利用者らは演歌や民謡に手拍子を合わせ、見入っていた。最高齢102歳の小林サツキさんはじめ、白寿、

米寿の利用者8人には、表彰状と本人の笑顔の写真付きフォトフレームが贈られた。

(菅原啓)